

授業概要

本講義は、幕末開港、明治維新から平成までの日本企業の歩みを説明します。日本経済の奇跡を企業と経営者に注目して見ていきます。経営史学は、過去の事実を分析するだけの時代は終わり、過去の文脈を解き明かすことを通じて現在の問題の核心と解決策を指し示し、そのことを通じて未来への展望を切り開く、新しい役割を担うようになりました。本講義を通じ、日本経済の奇跡、経営史学への興味・理解を深めることを期待します。

授業計画

第 1 回	経営史学とは
第 2 回	後発国の産業革命①：原始的蓄積から産業革命へ/3 タイプの工業化の担い手
第 3 回	後発国の産業革命②：早期離陸を可能にした要因
第 4 回	世界的に稀有な成長軌道へ①：大衆消費社会の到来/都市化と電化のリーダーたち
第 5 回	世界的に稀有な成長軌道へ②：財閥とその盛衰
第 6 回	挫折と再出発①：敗戦からの復興/遅しき再検者たち
第 7 回	挫折と再出発②：逆境への対応
第 8 回	「空前」の経済成長①：「奇跡の復興」から「ジャパン・アズ・ナンバーワン」へ
第 9 回	「空前」の経済成長②：革新的企業家の活躍
第 10 回	「空前」の経済成長③：日本的経営と経済成長
第 11 回	失速①：暗転と長期低迷
第 12 回	失速②：日本の企業はなぜ失敗したのか/2 つのイノベーションに挟撃された失速劇
第 13 回	再生①：土光敏夫から何を学ぶべきか
第 14 回	再生②：危機の本質と再生のビジョン
第 15 回	再生 3：新型日本的経営
第 16 回	期末試験

到達目標

- ①経営史学とは何か、説明ができる
- ②日本経済の奇跡について説明ができる

履修上の注意

- ①30 分以上の遅刻は欠席とします。6 回以上の欠席は単位取得が難しくなります。
- ②講義中の私語、スマートフォンの使用等は厳禁とします。

予習・復習

- ①予習は、次回講義のテキスト該当箇所を読んでください。
- ②復習は、新たに出てきた専門用語や理論など、再度調べて理解を深めるようにしてください。

評価方法

- ①毎回実施するリアクションペーパーの提出・内容を評価します。50%
- ②期末試験の得点を評価します。50%

テキスト

- ・教科書名：ゼロからわかる日本経営史
- ・著者名：橘川 武郎
- ・出版社名：日経 BP マーケティング(日本経済新聞出版)
- ・出版年 (ISBN)：2018 年 (978-4532114008)